

三が日は、いつもと違う雰囲気です… 令和5年 正月献立

栄養科 宮澤誠子

朝食(1日)



軟飯、吉野煮
すまし汁(梅花麩)
おせち盛合せ
(卵巻き、昆布巻き
豆きんとん)
牛乳



昼食(3日)



軟飯
鮭の粕漬け
おせち盛合せ
(寿かまぼこ、浸し、
手作り芋きんとん)
もも缶

夕食(2日)



軟飯
もえぎ重ね
(二色蒸し)
筑前煮
菜花辛し和え
いちご

写真の食種は
「一口大皿」

料理名←やわらか形態
の食品

〒183-8553
東京都府中市武蔵台2-9-2
東京都立府中療育センター
電話 042(323)5115
FAX 042(322)6207

--*ホームページもご覧ください*-*-*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>

ひだまり

都立府中療育センター新聞 第541号 発行日 令和5年1月31日

新年のごあいさつ



院長 澁谷和彦

皆様、新年あけましておめでとうございます。昨年は、3年間続いたコロナ禍に加えてロシアのウクライナ侵攻が始まり、世界中に影響が及ぶ大変な年となりました。新しく始まりました2023年は、1日も早くコロナ禍の収束と侵攻の終結が実現することを切に願っています。今年の干支であるウサギは、生命力に溢れ古来より幸福をもたらす象徴とも言われています。安らかで平和な世界をウサギがもたらしてくれることを期待しております。

2020年に旧府中療育センターと多摩療育園が一体となり新施設へ移転し、全職員が力を合わせて体制の整備を進めて参りました。病棟・外来・通所・通園の4部門における療育・医療の体制は、お蔭様でコロナ禍の中でも何とか軌道に乗せることが出来ました。一方、職員に欠員が生じていることもあり、現体制が必ずしも十分とは言えません。可能な限り早期に欠員を解消して、より充実した体制にしたいと考えています。

“利用者に寄り添う療育・医療を提供する”という当センターの基本方針にご協力をいただける方は、ぜひ一度ご連絡をいただければ幸いです。

今年は、コロナ禍で停滞した利用者のご家族や地域の方々との交流を推進し、短期入所や通園・通所などの業務も拡大できればと考えております。2023年が、皆様にとりまして良い年となりますよう心よりお祈り申し上げます。どうか本年も引き続き御支援のほど宜しくお願い致します。



新春の会

1 B病棟 上野三和

1 B病棟では、1月25日に新春の会として、「新春 とんとん 大相撲大会」(紙相撲)を行いました。期待感を持って参加していただけるよう、前月に各自に紙の力士を制作してもらいました。好きな色の回しを付け、しこ名も付けてもらったりしました。1週間前からトーナメント表を貼り出し、相撲が好きな利用者も多く、楽しみにしている様子でこの話題になると笑顔で応えていました。

利用者同士が対戦するため、距離があっても届くように土俵の盤を大きくし、腕を支えたり、棒を使ったり、利用者に合わせて工夫しながら行いました。力加減が難しく、やる気満々強く叩いて自滅してしまったり、お互いに静かに叩いているとなかなか勝負がつかず、少しずつ土俵を移動し「押し出し」で決まることもありました。行事に扮した職員が雰囲気盛り上げ、「がんばれ!」という声援のもと、勝敗に関わらず沢山の笑顔が見られ、楽しく過ごすことができました。



新春の会

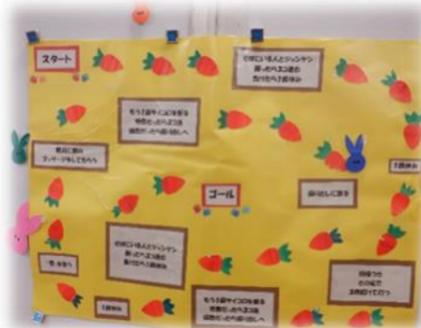
3 C病棟 山田志津子

1月19日に「新春ミニすごろく大会」を開催いたしました。新年のあいさつや病棟に戻ってきた利用者への歓迎の言葉等で、賑やかな雰囲気の中始まりました。

まずは、1月生まれの誕生者のお祝いに担当看護師からのメッセージを紹介し、「ハッピーバースデー」の歌でお祝いをしました。すごろく大会で使用する“すごろくボード”は干支にちなんだウサギの駒とにんじんのマスを活用して作成しました。すごろく大会は出

た目の数に歓声が上がり、「振り出しに戻る」「じゃんけんに負けたら一回休み」「雪を歌う」などのテーマをクリアしながら、ゴールを目指しました。じゃんけんの掛け声に笑顔がみられたり、サイコロの順番を待たずに振ってしまったりと楽しい雰囲気の中で実施することが出来ました。

全員揃った行事はとっても楽しい時間になりますね!



新春お楽しみ会

1 A病棟 早田智恵



今年初の病棟行事として「オリジナルかるた大会」が1月18日に行われました。大きなパーティーに利用者様の写真が並び、おひとりずつのチャームポイントをかるた風に仕上げたゲームです。皆でどなたの事か当てあうゲームですが、写真の中に紛れて利用者の方が好きな歌手やスポーツ選手の写真もあり、読み手が誰の事を読むのか皆さん真剣な表情で耳を澄ませて挑みました。かるたの言葉は事前にグループ活動でおひとりずつと相談して作成したものも多く「誰の事?」「もしかして?!」など色々な会話が繰り広げられ度々大きな笑い声があがりました。「すぐわかった」「わからなかった~」など様々な声があちこちから上がるなか正解者の利用者の方は満面の笑みとなり賑やかな会となりました。かるた大会の後には星占いで今年の運勢を発表しました。星座が発表されると利用者の皆様は手を高く上げたり「はい!」と元気に返事をされていました。ラッキーカラーやラッキーな場所など真剣な表情で聞きながら職員と「バスハイクでその色の洋服を買い物しましょうね」など予定を立てる方もいました。一年の始めに全員の方が一堂に会して行われた新春の会は大団円でお開きとなり、皆様の元気な顔で年間行事のスタートを切ることができました。



お楽しみ会

3 A病棟 水嶋暢



当初は1月11日に実施の予定でしたが、感染症対策院内フェーズが「3」ということで行事として集まることができなかつたため、1月25日に変更となりました。ちょうど院内フェーズも落ち着き、皆がデイルームに集まって実施することができました。

1月の誕生者の方1名のお祝いをして、「ハッピーバースデー」の歌を歌い、お祝いの言葉を受け持ちより伝えてもらいました。1月18日に入所された新規利用者様の自己紹介も併せて行ってからお楽しみ会が

始まりました。「日本一周ドライブすごろくゲーム」と銘打って、4チームに分かれて「ピンク、ブルー、グリーン、レッドと色々な車」を駒とし、47都道府県をドライブしていくすごろくです。北海道をスタートして、ゴールの沖縄を目指しました。サイコロを転がして、マス目のお題目をクリアしながら、行ったり来たりも繰り返す中、1チームがゴールの沖縄に到着して、優勝しました。久しぶりにデイルームに集まったの活動ができて、とても盛り上がるのあったお楽しみ会となりました。

